

中部様式
(調査事業)

令和4年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要 (全体)

扶桑町地域公共交通会議

令和3年7月9日設置

調査事業 (計画策定) 令和6年3月 地域公共交通計画策定予定

調査の背景および必要性

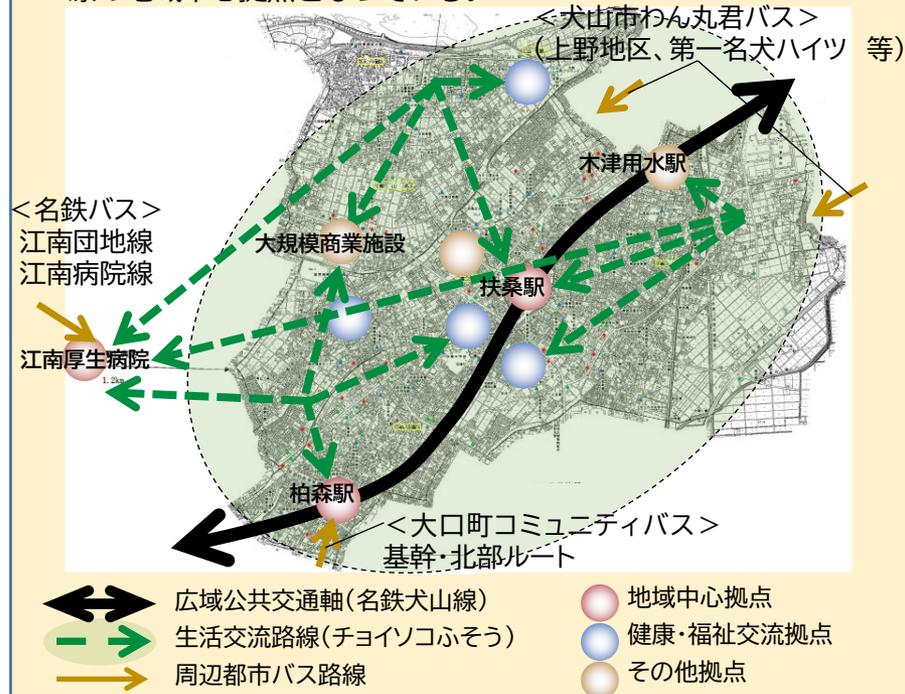
- 扶桑町の人口は、令和4年12月末現在35,107人と緩やかな増加傾向にありますが、令和12年頃を境に人口は減少局面へと転じる一方、高齢化が急速に進展することが予測されており、今後は**高齢者の移動需要の増加に対応した公共交通サービスがより一層求められます。**
- 令和2年に実施した町民アンケートでは、**日常生活において移動に不便さを感じている人は約30%、公共交通がない・利用しづらいために外出を控えたことがある人は約28%存在**していることが分かりました。
- 扶桑町の総合計画では、安心して暮らし、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりの実現に向け、**高齢者の外出支援を主目的として、日常生活を支える地域に適した新たな地域公共交通を導入**することを掲げています。
- **令和4年10月3日より町内及び江南厚生病院の停留所間をオンデマンド型の乗合交通として運行する「チョイソコふそう」の実証運行を開始**しました。
- 新たな地域交通の導入にあたっては、以下の政策課題を検証するとともに、本格運行への移行の是非を含め、**扶桑町における地域公共交通のあり方や目標を検討・作成するため、調査事業を活用して扶桑町地域公共交通計画を策定**することとしました。
 - ① 高齢者の積極的な外出を促すとともに、自家用車の運転等の代替となり得るものであるかを検証
 - ② 日常生活における移動の不便さを解消する移動手段として機能し得るものであるかを検証

扶桑町における公共交通ネットワーク

- 扶桑町の公共交通は、名鉄犬山線（3駅）と一般タクシー（犬山交通、名鉄タクシー）および実証運行を開始した「チョイソコふそう（デマンド交通）」があり、近隣行政（犬山市・大口町）の巡回バスも一部町内に乗り入れている。

運行日：平日8時～16時 運行車両：ハイエース（乗客8名）2台
 会員登録制：扶桑町在住の小学生以上の方
 運賃：(町内) 1移動300円 小学生・65歳以上・障がい者※1 200円
 (江南厚生病院) 1移動800円 ※1 500円

- 名鉄犬山線を東西方向の広域公共交通軸とし、チョイソコふそうは**南北方向の移動を補完**しつつ、町内拠点等をきめ細やかにサービスする自由度の高い移動手段としての機能を有しています。
- 町内には総合病院がなく、利用町民が多いため**江南厚生病院**が医療の地域中心拠点となっている。



実施した調査およびその結果明らかになったこと（その1）

事業内容	結果概要
<p>1. 扶桑町の地域特性と公共交通の現状把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>交通需要が発生・集中する背景となる本町の都市特性を把握</u> ・ <u>公共交通の実態と公共交通が支える扶桑町の将来都市像を整理</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>人口・世帯数はともに緩やかな増加傾向にある中、65歳以上の高齢者は令和7年までは微減するものの、<u>長期的には実数・割合とも増加が予測</u></u> ・ <u>通勤通学流動は流出超過で、流出先として名古屋市、犬山市、大口町との結びつきが強い</u> ・ <u>公共交通の現状は、名鉄犬山線が東西方向に経由し、町内に3駅を存する</u> ・ <u>民間路線バスはマイカー時代による利用者減少を受けて平成10年に廃止</u> ・ <u>扶桑駅・柏森駅とイオン扶桑を連絡する路線バスが平成21年に運行開始しましたが、翌平成22年に廃止</u> ・ <u>町内を巡回する福祉バスを平成12年に運行開始しましたが、利用者減少により平成14年に廃止</u> ・ <u>町内には、犬山タクシー（48台）と名鉄タクシー（54台）の2社が運行</u> ・ <u>80歳以上及び40歳以上で要介護又は要支援認定の方へ年間36回を基本としたタクシー料金助成制度を実施</u>
<p>2. 各種ニーズ調査</p> <p>①町民アンケート（R4.10～11実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>15歳以上の町民2,000人を対象とし、配布・回収とも郵送方式</u> ・ <u>回答者の属性（年齢層、居住地等）、普段の外出（頻度、目的、目的地等）、公共交通手段別の利用状況と満足度・期待する役割等</u> ・ <u>回収数793票、回収率39.7%</u> <hr/> <p>②チョイソコ会員アンケート（R4.11～12実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>回答者の属性（年齢層、居住地等）、利用状況（頻度、目的、目的地、以前の利用交通手段）、利用しない理由、満足度と具体的な改善アイデア等</u> ・ <u>回収数523票、回収率40.2%</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>自動車の運転を止めた後に利用している（利用したい）交通手段「自転車」が23.4%、「チョイソコふそう」が22.2%、「家族や知人の送迎」が16.9%</u> ・ <u>扶桑町内の公共交通の利用率（「年に数日」以上利用している人の割合）名鉄電車で67.7%、チョイソコふそうで1.7%、タクシーで20.7%</u> ・ <u>「チョイソコふそうの実証運行が行われていること」の認知度は48.0%で、「チョイソコふそうについては何も知らない」の45.1%を上回っています。</u> ・ <u>公共交通を利用しない理由（「現時点で利用の必要ない」の回答が各項目70%以上）（名鉄電車）「自宅から駅、駅から目的地が遠い」22.3%（チョイソコふそう）「他の交通手段がある」21.4%、（タクシー）「運賃が高い」34.7%</u> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>チョイソコふそうの利用状況</u> 1番目に利用頻度の高い移動と2番目に利用頻度の高い移動のどちらも利用している人が<u>26.3%</u>となっています。<u>どちらも利用していない人は53.7%</u>となっています。 ・ <u>チョイソコふそうを利用している登録者の満足度</u> <u>（満足+まあ満足）51.6%、（不満+やや不満）3.5%</u>

B.地域公共交通調査事業の内容と結果

実施した調査およびその結果明らかになったこと（その2）

事業内容	結果概要																																																	
<p>2. 各種ニーズ調査（つづき）</p> <p>③交通事業者ヒアリング （R5.1.2実施予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内を運行するタクシー会社（運転手を含む）へ聞き取り方式によるヒアリング調査を実施 <hr/> <p>④町民意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内を3地区に区分し、ワークショップ方式で意見交換会を開催 柏森・斎藤地区（R5.1.24） 山那・小淵・南山名地区（R5.1.25） 高雄・高木地区（R5.1.31） 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生の声を把握 公共交通の運行実態や安全確保に関する問題点を抽出 運行改善に係る交通事業者のアイデアを把握 <p>※調査事業項目とは別に、町ではアイシンと適宜、情報交換を実施</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> 町民アンケートやチョイソコ会員アンケートの結果概要を報告 町民の移動に関する問題点や課題を把握 課題解決のアイデアを検討 地域住民の生の声やチョイソコの利用状況や感想なども把握 <p>※調査事業項目とは別に、町では実証運行実施前に地域住民との意見交換会を開催</p>																																																	
<p>3. 地域公共交通の課題整理 （令和4年度中にとりまとめを予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 前項までの地域特性や各種ニーズ調査結果を踏まえ、扶桑町における地域公共交通の課題を整理 	<ul style="list-style-type: none"> 扶桑町が目指す将来都市像の実現に向け、高齢者を主体としつつ、子どもや子育て世代が利用しやすい公共交通サービスのあり方からみた課題を整理 利用実態と提供するサービス（需要と供給）の関係や、予約システムのあり方（わかりやすさ）からみた課題を整理 持続可能な公共交通体系の構築に向けて、町民・地域・利用者・交通事業者及び行政の多様な関係者が連携・協働した取り組みを実践する上での課題を整理 他 																																																	
<p>4. 新規デマンド交通の効果検証 （令和4年度中にとりまとめを予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> デマンド型交通実証運行の効果を検証（現状:令和4年10月～12月の3ヶ月を検証） 	<ul style="list-style-type: none"> 実証運行結果（利用実態）や各種ニーズ調査結果（町民及び交通事業者意向）を踏まえ、デマンド型交通の導入効果を検証するとともに、本格導入の必要性と今後の課題を整理する。 <p>利用実績</p> <table border="1" data-bbox="672 1076 1155 1270"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年10月</th> <th>令和4年11月</th> <th>令和4年12月</th> <th>3ヶ月平均</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予約件数(件)</td> <td>678</td> <td>912</td> <td>926</td> <td>838.7</td> </tr> <tr> <td>予約件数累計(件)</td> <td>678</td> <td>1,590</td> <td>2,516</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>登録者数合計(人)</td> <td>1,913</td> <td>2,110</td> <td>2,263</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>1日当たりの利用者数(人/日)</td> <td>33.9</td> <td>45.6</td> <td>46.3</td> <td>41.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>登録者の利用割合</p>  <p>乗降利用回数（上位）</p> <table border="1" data-bbox="1564 1076 1874 1270"> <thead> <tr> <th></th> <th>停留所名</th> <th>合計回数(回)</th> <th>利用人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イオンモール扶桑</td> <td>491</td> <td>103</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>江南厚生病院</td> <td>464</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>柏森駅北</td> <td>152</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>神尾外科</td> <td>147</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>ひじかた整形外科</td> <td>123</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	3ヶ月平均	予約件数(件)	678	912	926	838.7	予約件数累計(件)	678	1,590	2,516	-	登録者数合計(人)	1,913	2,110	2,263	-	1日当たりの利用者数(人/日)	33.9	45.6	46.3	41.9		停留所名	合計回数(回)	利用人数(人)	1	イオンモール扶桑	491	103	2	江南厚生病院	464	152	3	柏森駅北	152	55	4	神尾外科	147	18	5	ひじかた整形外科	123	20
	令和4年10月	令和4年11月	令和4年12月	3ヶ月平均																																														
予約件数(件)	678	912	926	838.7																																														
予約件数累計(件)	678	1,590	2,516	-																																														
登録者数合計(人)	1,913	2,110	2,263	-																																														
1日当たりの利用者数(人/日)	33.9	45.6	46.3	41.9																																														
	停留所名	合計回数(回)	利用人数(人)																																															
1	イオンモール扶桑	491	103																																															
2	江南厚生病院	464	152																																															
3	柏森駅北	152	55																																															
4	神尾外科	147	18																																															
5	ひじかた整形外科	123	20																																															
<p>5. 地域公共交通会議での検討・協議・報告</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定に向けた事業計画や各種ニーズ調査等のアンケート調査票や調査結果を扶桑町地域公共交通会議にて検討・協議・報告。（R4.5.30第1回会議、R4.8.26第2回会議、R5.1.16第3回会議） 																																																	

調査結果の地域公共交通計画への反映

現在、扶桑町における地域公共交通の課題抽出に必要な各種調査を実施している段階のため、地域公共交通計画に反映した取り組み内容は予定事項として記載します。

交通サービス

- 人口減少と高齢化の進展
⇒ **人口構造や移動ニーズの変化（目的、目的地、頻度等）に対応した公共交通サービスの確保**
- 交通流動特性
⇒ 名古屋市、江南市、犬山市等の都市間流動に対応した名鉄犬山線の**広域的な公共交通軸としての機能確保**や、名鉄犬山線への**アクセス利便性や乗り継ぎ利便性**の確保
- 町民アンケート調査結果より
チョイソコふそう（公共交通）に対する期待大
⇒ チョイソコふそう実証運行の効果検証結果（乗合率を高める情報・案内の提供等）を踏まえ、きめ細やかなサービスを確保
- 町民アンケート・チョイソコふそう会員アンケート調査結果より
チョイソコふそうに求められる役割は「通院・買い物するための交通手段」が多数であり、停留所での待合環境における不満割合が高い
⇒ 医療施設や商業施設でのバス待ち環境について改善
- 交通事業者ヒアリング及び町民意見交換会の結果より
⇒ **安全な運行確保、利便性の高いサービス確保**とともに、**運転手の労働環境**に配慮
- 利用実績、町民アンケート、チョイソコふそう会員アンケート調査結果より
チョイソコふそうについて何も知らない45.1%、会員登録者の約83%がまだ利用しておらず、登録理由として「家族が送迎できないときに利用するため」（55.3%）
⇒ チョイソコふそうの周知強化を実施し、家族にとっても**気軽に利用できる移動手段**としての姿を目指す

交通体系の構築

- 扶桑町が目指すまちづくりの実現に向けて、**高齢者を始め子どもや子育て世代等「みんな」が笑顔で過ごせるまち**を町民と行政等が連携・協働して進めて行きます。その中では、高齢者を始め、子育て世代等幅広い世代が利用しやすく、わかりやすい公共交通体系の構築を目指します。
- これら取り組みは、町民・地域・利用者・交通事業者・行政など、多様な関係者が連携・協働して実施し、**持続可能な公共交通体系**の構築を目指します。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

資料 3-2

令和5年1月16日

協議会名:扶桑町地域公共交通会議

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A・B・C評価 【事業が適切に実施された(されている)かを記載。適切に実施されなかった(されていない)場合には、実施されなかった事項及び理由等記載】	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
<p>1. 扶桑町の地域特性と公共交通の現状把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤通学流動は名鉄犬山線沿線の名古屋市、犬山市及び隣接する大口町との結びつきが強い ・町内の公共交通は名鉄犬山線と一般タクシーのみであったが、令和4年10月3日より町内全域でチョイソコふそうの実証運行を開始 <p>2. 各種ニーズ調査</p> <p>①町民アンケート(配布数2,000票、回収率39.7%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の公共交通の利用率は名鉄電車67.7%、チョイソコふそう1.7%、タクシー20.7% ・自動車の運転を止めた後に利用している(利用したい)交通手段は、「自転車」が23.4%で最も多く、次いで「チョイソコふそう」が22.2% <p>②チョイソコ会員アンケート(配布数1,300票、回収率40.2%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チョイソコふそうの利用状況は、1番目に利用頻度の高い移動と2番目に利用頻度の高い移動のどちらも利用している人が26.3% ・チョイソコふそうを利用している登録者の満足度は51.6% <p>③交通事業者ヒアリング(令和5年1月実施予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行上の問題点や課題、利便性向上に向けた改善アイデアを把握 <p>④町民意見交換会(令和5年1月実施予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民の移動に関する問題点や課題及び課題解決のアイデアを検討 <p>3. 地域公共交通の課題整理(令和4年度中にとりまとめ予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来都市像の実現に向け、高齢者を主体としつつ、子どもや子育て世代が利用しやすい公共交通サービスのあり方からみた課題を整理 ・利用実態と提供するサービス(需要と供給)の関係や、予約システムのあり方(わかりやすさ)からみた課題を整理 ・持続可能な公共交通体系の構築に向けて、多様な関係者が連携・協働した取り組みを实践する上での課題を整理 他 <p>4. 新規デマンド交通の効果検証(令和4年度中にとりまとめ予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証運行結果(利用実態)や各種ニーズ調査結果(町民及び交通事業者意向)を踏まえ、実証運行の効果を検証するとともに、本格導入の必要性と今後の課題を整理 <p>5. 公共交通会議にて協議・報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画策定に向けた事業計画や各種ニーズ調査票等を地域公共交通会議で協議・報告(令和4年5月30日第1回会議、令和4年8月26日第2回会議、令和5年1月16日第3回会議) 	<p>A</p> <p>各種調査の実施・分析より、町民や利用者の公共交通に対するニーズが把握できた</p> <p>令和5年1月に交通事業者ヒアリングの実施、町民意見交換会を開催し、移動に関する問題点や課題及び改善アイデアを把握</p> <p>年度末までに地域公共交通の課題を整理するとともに、地域公共交通会議にてこれまでの検討結果を共有・協議</p> <p>令和5年度には、令和4年度の検討結果を踏まえ、扶桑町地域公共交通計画の策定を予定</p>	<p>【補助対象事業名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通調査事業(計画策定事業) <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扶桑町地域公共交通調査事業委託 <p>【実施時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年8月17日～令和5年3月31日(令和4年度事業) <p>【計画策定に向けた方針】(令和5年度策定予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域的な公共交通軸として機能する名鉄犬山線を軸とした公共交通体系の構築に向けて、鉄道駅へのアクセス利便性と乗り継ぎ利便性の確保 ・チョイソコふそうの実証運行結果を踏まえ、高齢者を始め子どもや子育て世代等幅広い世代が利用しやすいきめ細やかなサービスを確保 ・チョイソコふそうを効率的かつ効果的な移動手段として確立するため、乗合率の向上に向けた各種利用促進施策及び情報案内を積極的に展開 ・町民・地域・利用者・交通事業者及び行政の多様な主体が連携・協働して、持続可能な公共交通を確保・維持する体制や仕組みを構築

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月16日

協議会名:	扶桑町地域公共交通会議
-------	-------------

評価対象事業名:	地域公共交通調査事業(計画策定事業)
----------	--------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>(扶桑町地域公共交通計画は令和5年度策定予定)</p> <p>扶桑町が目指すまちづくりの実現に向けて、子どもから高齢者まで「みんな」が笑顔で過ごせるまちを町民と行政等が連携・協働して、地域の移動ニーズに適した最適な交通手段及び必要とするサービスを確保する各種取り組みを進めます。</p> <p>本事業は、扶桑町における地域公共交通の基本方針や計画目標に基づき、目標を達成するために実施する事業・実施主体とともに評価に関する事項を定めることで、多様な関係者の役割・連携・協働のあり方を明確化するものであり、適切かつ効果的で利便性の高い地域公共交通の実現を目指すために必要な事業である。</p>
-----------------------------	--